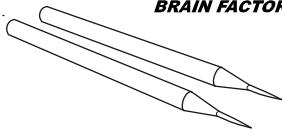


# ニードルビット

## (2本組) 取扱説明書



ご使用前に、この説明書と台紙裏面の『使用上のご注意』をよくお読みの上、使用してください。『安全上のご注意』ならびに、ヒートペンの基本的な使い方については、ヒートペン本体の取扱説明書をお読みください。

### 1. 特長

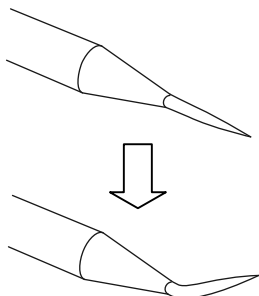
プラスチックの表面に溝などをモールドするのに使用します。標準添付の「ピンポイント」(円錐形)よりも先が細長くなっていますので、狭い場所でも使い易くなっています。

フィギュアの服装のディテールアップ(袖口や襟元、コートの裾の内側の掘り込み等)や、指の間の切り離し、指の曲げ作業や、握っている物の切り離しにも最適です。

材質が真鍮製ですので、針部分の根元からペンチなどを使って簡単に曲げることが出来ます。使い易い角度に曲げて使用します。

針部の根元の直径は 1.0 ミリ、長さは約8ミリ、針先の角度は約20° です。

先端は、硬い物に当てたり、強く押し付けたりすると、すぐに曲がってしまいます。そのような使い方をしたい場合は、「ピンポイント・プロ」(HP-B109)をお勧めします。



針の根元を曲げて使う

### 2. 使用上のご注意

- ・ビットの先端は、研磨仕上げのため非常に鋭くなっています。指などに刺さないよう、取り扱いには十分ご注意ください。
- ・ビットの先端は、非常に変形しやすいので、硬い物に押し付けたり、ぶつけたりしないでください。また、テンプレートやメタルスケールをガイドにしたりしないでください。ティッシュペーパーなどで拭く時は、先端に横方向の力がかからないように拭いてください。
- ・保管・輸送時には、必ずキャップを付けてください。
- ・先端が変形した場合は、砥石や目の細かいペーパーヤスリで修正してください。

### 3. 使用方法

#### (1) 準備

ヒートペンにビットを取り付け、温度を180前後に設定し、温度が安定するまで待ちます。

#### (2) 作業例(1/35 フィギュアの袖口のくり貫き)

①手首のラインに沿って、溝を掘り込みます。

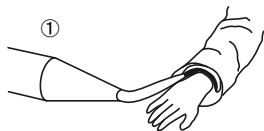
針先が真っ直ぐ入らない場合は、斜めに入ると入り易くなります。

②余分なバリ(盛り上がり)を彫刻刀などを使って切り離します。

③袖口の内側ぎりぎりのラインを掘り込みます。この時、余分な肉が手首側にせり出すので、これを刃幅1ミリ以下の彫刻刀などを使って切り取ります。切り取りにくい部分は、再度ニードルビットを使って切り込みを入れ、交互に削っていきます。(刃物だけを使った時に比べ、格段に早く作業出来ます)

**メモ**

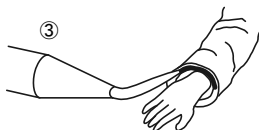
袖口の生地をぎりぎりまで薄くする作業は、ニードルビットを使うと熱で外側まで変形してしまうので、刃物を使って仕上げるようにします。



手首の回りを掘り込む



余分な盛り上がりをカットする



袖口の内側を掘り込む



### 4. ビットの補修について

基本的に修理は行いませんが(新規製作と手間が変わらないため)、事情によりセット商品のバラ売りは可能です。販売店もしくはイベント会場等でお問い合わせください。

※破損したビットは、ヤスリやドリル等で加工して別の形状のモールド用にお使いください。

### 5. 限定品の企画について

ビットやエッチング商品など要望がありましたら検討致します。有償でも製作致します。具体的な形状を示す資料などを用意し、下記メールアドレスまでご連絡ください。